

# ドナウ通信

No. 38

## 目 次

1枚の絵	1
新年のご挨拶	2
会社紹介	4
大使館からのお知らせ	9
弁論大会	11
補習校便り	15
随 想	19
誰にも分かる経済解説	30
掲示板	32

## 「一枚の絵」

天野 仁美

当初、私達夫婦は「地球の歩き方」を参考にして休日を利用し、日帰りで地方にドライブに出掛けました。

その時にいつも感動したことは日本とは比較にならないほど、空が大きいということでした。ドライブの帰路、晴れた日に太陽が沈んだ後、ほんの数分間空に素晴らしい色と光りが現れることがよくありました。

地平線の下に沈んだ太陽が空に光りを跳ね返しているのでしょうか.....。

白い太陽が赤く大きくなって小麦畑の上の浮かんでくると、ねぐらに帰る鳥たちが夕暮れの上昇気流に乗ってそれはそれは美しくまるで一幅の絵を見るようです。そして辺りはだんだんと青くなり淡い霧が緑の畑の上に這い出してきました。

しばらく進むと車は寂しげな街を通り抜け、上を見ると白く美しい月が出ていました。ふと、蕪村の句、

“月天心 貧しき町を通りけり”を思い出しました。

自分の目と心で見て感じると言葉が出ないほど胸は感動で一杯になることがあっちこちに沢山ありました。

日本に帰りましたら今まで訪ねていない地方を夫婦で訪ね、色々な絵を見てみたいと願っています。

## 新年の挨拶

糠沢 和夫

明けましておめでと。特に納税者の皆さん、昨年中はそれぞれ大変な中、誠にお世話になりました。お蔭様で、政府も大使館も、年越しが出来ました。

今の私は任地の事に附いてそれほど心配していません。4%前後の成長はするし、失業率もインフレ率も低下するでしょう。それに寄り添って、進めばいい。むしろ日本です。日本が悪いと、ハンガリーとの関係も追い風を失います。

暮れの日本人会で、美智子皇后の「岬みな海照らさむと 点るとき 弓なして 明る この国ならむ」を引いて、日本はまだ苦しい時期が続くが、個人と企業がそれぞれ一隅を点し、体を弓なりに耐えつつ四海を照らして進もう、と申し上げました。

平成も、はや十年が過ぎ、我々が喪つたものと、持てるものが露わになり、

新しい時代のかたちも見え始めています。

喪つたものは何か。それは、明治以来の日本を「貫く棒の如きもの」（虚子）です。

第二次世界大戦で生き残つた者が、人生を十分に味あわずに消えた霊達に誓つた、“今はの際の貴方の声は聞き届けた。平和のなかできつと日本を再建してみせる”と言う情念は消えました。今や、戦没詩人の竹内がいったように「事務と常識が流れ、故国は発展に忙しかった。（「骨のうたふ、戦死やあはれ、兵隊の死ぬるやあはれ」）が実現しただけのように見られています。勤め人は、“社畜”と蔑まれたりしています。

明治以来、日本人は“人に見下げられる事を潔しとせざる廉恥の心”（新渡戸稲造）で粉骨碎身してきたのに、残念です。

ここ半世紀、とにかく日本人が戦場で死なず、外国人を一兵も殺傷しなかったのは素晴らしい事だった。が、半面それ

は美学を喪つて生き抜いてきた事でもあった。

人の胸には誰にも文化と徳目の矢が刺さっているものですが、私の世代は、その矢と新憲法の「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して……国際社会に名誉ある地位を占めたいと思ふ」と言う考え方との間に、折り合いを付けて処世を図ってきました。

名誉を重んずるなら、孤立をも恐れない強さを身に付けているべきだったのだが……。

“平和に生きる”と言う願いは、屈辱に耐えて生き抜く町人精神のしたたかな覚悟なしに成就できないものでした。これに気附かぬ振りをして、“新憲法で平和を守ってきた”とし、内実は核の傘の下に生き、「汝、殺すなかれ」と言う訓えを破るのは他国の役割としてきました。

いま振り返って、美学なしに繁栄だけに専念し、しかも緊張感を長く維持するのは難しいものだったと、と思います。

我々と良く似た人びとの犯したバブル期の愚行と汚職は、この緊張感が、ある時期、つまり「これで漸くアメリカに追いついたかな」と錯覚した時期から急速に解けた事に原因があると思っいています。平行して、組合を含めた“左からの改革”の退潮も、体制側の緊張解除の一因でしょう。

さてこれからです。消えた情念に頼る事は出来ません。喪つたものを何度勘定しても仕方がありません。得つつあるものを見ましよう。

若者たちは、顔も行動もずいぶん私の若い頃と違ってきました。将棋の羽生は升田・大山と違う。野球のイチローは川上と違う。汗臭くないし、球禅一如なんて言いません。マラソンの高橋尚子は自殺した円谷とは全く違う。屈託がない。若い人達同士の付き合いを見ても、朝まで飲んで議論するより、ワインを味わいながら衝突の目立たない会話を楽しんでいる。朝日連載の保坂和志なんかは、対話の表面に浮かぶさざ波の下に、意味深

いドラマを読み取らせています。「紅旗征戎を我事としない」「大言壮語しない」世代は、一つのライフ・スタイルを作り上げているようです。

女性の活躍に期待します。元気のいいNGOは全て女性が中心になっていきます。各省入省者を見ても、女性の比率が実に高くなってきました。もっと増え、地位も上がれば、接待を含め民と官の関係も変わるでしょう。権力中枢に近い人の金銭感覚も違ってきます。とにかく、女性は元氣印です。そう言えば、昨年的美智子皇后講演は、皇室1500年歴史で最も傑出した文芸作品です。驚嘆しました。

並行的に、外国人の日本“内部”への参入も、金融部門等から盛んになり、企業間関係や政府と企業のあり方も変わります。訴訟社会にならない様に戒め合いながら、これを刺激にして日本人がもう一段大きく、かつタフになって行くことを期待するしかない。

一方、老人の生き方も工夫が必要で

「大会社の重役をしてた人には、こういう席を準備せねば」とか、「前に大使をしてたのだから、相応しい扱いを」と言うような常識は、急速に息絶えて行きます。平均寿命80歳時代ともなると、2030年の努力だけを頼りに人生の期待値をあまり高めないほうがいい。少子・高齢化の世界では、経済で言う稀少性の原理から言っても、私の世代の値打ちは下がって行きます。多数の若者が少数の白頭に敬意を払う、と言う儒教的人口構造がなくなれば、それに相応しい社会や人間関係、余生の過ごし方、にそれぞれが答えを出す事になります。

冒頭の、点る各々を、自分で点検して一年を生き、未来を設計しようではありませんか。

E-mail:nukaka3@mail.datanet.hu

## マジヤールスズキ会社紹介

近藤 唯志

### 1. 会社設立の経緯

マジヤールスズキは、乗用車の生産、販売を目的として、1991年4月に、スズキ株式会社、伊藤忠商事株式会社、オートコンサーン株式会社（ハンガリーの持株会社）、そして国際金融公社（いわゆる第三世銀）の4社による合弁会社として誕生しました。この会社設立に至るまでには、紆余曲折があり、また、長い歳月を要しています。実際にハンガリーでの自動車生産についての交渉が始まったのは1985年頃で、ハンガリーでも経済の自由化への試みが始まっていたとはいえ、まだ誰もベルリンの壁の崩壊が目前に迫っているなんて想像していなかった頃です。ハンガリー政府との話し合いを始めたものの、政府内で改革派と保守派の間の政争があり、交渉は

一時中断、そして、改革派が主導権を確保して交渉再開、最後の社会主義労働者党（共産党）政権下の1990年1月、ようやく基本合意に至り、それから更に一年以上を経て、合弁契約の締結、会社設立を実現しましたが、その時は、故アントール首相率いる民主フォーラムが、政権を握っていました。それから、工場建設に着手、実際に生産を開始したのは、会社の設立から、更に一年半後の1992年10月の末でした。

よく皆さんから受ける質問の中に、「なぜ、スズキはハンガリーに進出したのか？」というものがあります。正直を申し上げれば、ハンガリーでなければいけないと言う、強い理由はありませんでした。実際、スズキは、その当時、EU域内を含めて、複数の国での現地生産の可能性を平行して検討しており、そのどれかが、それぞれメリット、デメリットを併せ持つていて、なかなか甲乙付けがたい状態でした。

スズキという会社は、インドやパキスタンなど、あまり他の自動車会社が進出しない国へ早々と進出したり、北米での生産でもアメリカ本土ではなく、カナダを選んだり、少しメインストリームをはずれたところに工場を設置する性癖があります。これは単なる性癖というだけではなく、他の人があまりいないところで勝負したい、という考え方、そして、「やらまいか」（遠州方言・・・とにかくやってみよう）というスズキの社風の表れであるとも言えます。従って、ヨーロッパでの生産を考えるに当たっても、勿論、英国や、フランスを考えなかつたわけではありませんが、やはり、ハンガリーやユーゴスラビアと言った、いわゆる東欧諸国が、自然と有力候補になっていました。この中でも、最終的にハンガリーに決めたというのは、政治、経済的な条件を比較検討した結果でもありませんが、このプロジェクトを強力に推進した、現伊藤忠商事ブダペスト事務所の田

路所長の存在が大きな要因になっている事は、紛れもない事実です。氏の粘り強いご努力で、スズキにとっては、あまり馴染みのなかったハンガリーという国が、いつの間にか、身近な国になり、「やれば、出来るのではないか」という気持ちが生まれ、決定に向けての土壌が作られたのだと言えるのでは、と考えられます。

## 2. 現在の概況

マジヤールスズキの社は、エステルゴム市にあります。エステルゴムは、ブダペストの北、約50kmに位置する人口3万人足らずの小さな町ですが、ハンガリーカトリックの総本山と言われる大聖堂を持ち、歴史的にもかつては、ハンガリーの首都であったこともあるという由緒正しき町です。そのエステルゴムの郊外に、マジヤールスズキの本社工場が白い壁を見せて建っています。気のいい日に、EU各国から飛行機でハンガリー領内に入る時にエステルゴムの真上

を飛ぶことがあります。注意深く窓外を眺めると、その時には大聖堂とともに、マジヤールスズキの工場が見えますので、皆さんも機会があれば、試してみてください。社員数は、約1400人、スズキの駐在員は、篠原社長以下18名、伊藤忠さんから3名がマジヤールスズキに出席しています。駐在員に加え、工場の生産現場には、常時少なくとも5名の指導員が長期出張の形で滞在していますし、物流会社への駐在員も含め、エステルゴムでは、約30名の日本人が働いていることとなります。駐在員の中には、98年の9月に赴任してきたものは、一番歴史が浅く、最も長いケースでは、創立以来の駐在員まで、年齢、経験ともバリエーションは豊富です。

マジヤールスズキが生産している車は、スイフトと呼ばれる、1000cc、1300cc、1600ccの3種類のエンジンをもち、3ドア、4ドア、5ドアの3種類のボディを持つ小型の乗用車です。生産開始以来、スイフトはハンガリーで

約10万台が売られ、街の中でもよく見られる車の一つになってきましたから、皆さんも、よく目にされていることと思います。ハンガリーには、250万台くらいの乗用車があるといわれていますので、25台に1台はスイフト、ということになります。もちろん、マジヤールスズキは、ハンガリー国内だけではなく、EU各国を中心とした外国市場に向けてスイフトを輸出していて、その数は、今までに15万台くらいになります。従いまして、マジヤールスズキが、今までに、生産、販売してきた車は輸出も含めて、約25万台ということになり、12月12日に25万台目の車がラインオフしました。1998年だけをとりえると、年間の生産販売数は、約6万6千台、そのうちハンガリー国内へは、約2万4千台(スイフトのみ、このほかに輸入車が約1000台)が販売され、4万2千台くらいが輸出される見込みです。

上の表でおわかりになるように、1992年には、ハンガリーで生産された車は916台が国内で売られただけですが、いまや、6万6千台の車が、国内外で販売されるようになりました。ハンガリー国内では、今年2万4千台ほどが販売される見込みですから、ハンガリー全体で販売される乗用車が10万台くらいと見ると、98年に売られた新車の5台に1台くらいはスイフトだ、と言うことになります。スイフトは、決して大きくて豪華な車ではありませんが、比較的買いやすい価格で、手頃なサイズの車と言うことで、ハンガリーの人々に支持され、沢山の方に購入して貰っており、いわば「国民車」的なものとして、浸透している、と自負している次第です。

このプロジェクトの話し合いが始まった15年前には、ハンガリーでは驚くべきことに、乗用車を買うためには、前金を払って、長いと4〜5年も待たなければいけない、という状況でした。いま

でこそ、世界中の自動車会社が進出してきて、色やグレードに拘らなければ、すぐに車を買う様になりましたが、かつては、社会主義国以外からの自動車輸入が事実上禁止され、輸入される車のほとんど全てが、旧東ドイツ、ソビエト、チェコ、ポーランド、ルーマニアなどで作られたものでした。しかし、乗用車を生産していた社会主義国では、自国民への供給と、外貨を稼ぐための西側への輸出が優先され、同盟国への輸出にはあまり熱心ではありませんでした。その結果、ハンガリーでは、深刻な自動車不足となっていたわけです。これには、ハンガリー国民も、大きな不満を持ち、たかが「自動車」とばかりも言っていられないような状態になり、社会の不安定化の一因になるものと危惧されるほどの問題に発展しそうな気配になってきました。こうした状況の中で、マジヤールスズキのプロジェクトの話し合いが始まったわけです。

ですから、プロジェクトにおける第一の目標は、当初、ハンガリー国民への乗用車の安定供給であった、と言えます。冒頭に記しましたように、話し合いが始まったときには、ペレストロイカだなんだと、ソビエト体制崩壊の兆しはあったものの、こんなに早くソビエトを中心とした体制が崩壊し、経済の自由化が本格化するなんて事が、想像もできないような頃でしたから、閉鎖市場の存続を前提とした、そんな考え方も不思議ではなかった時代でした。ところが、話を進めていく過程で、めまぐるしく社会が動き、ほんの数年でベルリンの壁は崩壊し、経済の自由化が進行し、自動車もほとんど輸入されるようになり、マジヤールズズキプロジェクトも当初の予定から方向転換を余儀なくされ、国内市場での販売に力を注ぎながらも、輸出に重点を置くようになり、総生産台数の半分以上を輸出するという現在の姿になっています。

また、マジヤールズズキは、生産会社

であると同時に、販売会社でもありますので、ズズキの輸入代理店という側面も持っており、日本製（正確にはスペイン製のものもあります）の自動車を初めとして、モーターサイクルや船外機などの輸入販売もしています。

### 3. 将来の姿は???

新聞等でも報道されたので、ご存知の方も大勢おられると思いますが、マジヤールズズキでは、2000年から、ドイツオペル社との共同開発車の生産を始めるべく、準備を進めています。今の段階では、どんな車かをここで披露するわけにはいかないので、基本的に、ズズキの設計になる車であることは、申し上げても問題はないでしょう。ズズキという会社は、四輪車の分野では、小型車、とりわけ日本の軽自動車の生産、販売に特化している会社で、日本では25年間連続して、軽自動車の販売台数トップの座を守り続けています。

よく言われることですが、軽自動車も、大型高級自動車も使われる部品の数には大きな差はなく、少しずつサイズが小さいだけです。価格には大きな違いがあります。靴だって、洋服だって、大きさだけで、値段が違うと言うことはあまりありませんが、自動車の世界では、一般に小さいものは安い、と言う常識が通用しています。従って、小型の車を、安性、快適性を犠牲にせずに、求めやすい価格で販売するためには、どうやってコストを抑えるか、と言うことが大変重要になってきます。この点でのノウハウは、ズズキが誰にも負けないと思っているところであり、また、周囲もそれなりに評価を下さっている様で、そこに目を着けたのがオペルというわけです。

この「共同生産車」の生産を始めた後、スイフトはどうなるかという点、スイフトの生産は続けられます。従って、2つの車種が平行して生産されることになります。単純計算では、スイフトだけで、

年間6万6千台も作っているわけですから、2車種になれば、13万台も作るのかと言つことになりましたが、現実はそのほど甘くもなく、全体の台数がそんなに大きく伸びるとは期待できません。今のスイフトは、マイナーチェンジを重ねてきたとはいえ、登場以来10年も経つ車ですから、これを永久に作り続けるわけにもいかないわけですが、これの将来については、「企業秘密」と言うことになり、まだまだ内緒の話です。

とにかく、はじめた限りは成功させなければいけないわけですから、当面の目標である、年間生産・販売10万台をめざしてマジヤールズズキは頑張っています。

## 大使館からのお知らせ

### 領事部受付時間

領事部の受付時間は次の通りです。出生届や婚姻届等の戸籍・国籍関係、各種証明書関係（特に無犯罪証明書）については届出用紙への記入に時間がかかりますので、余裕を持って来館して下さい。

受付時間 月～木 8:45 12:15

14:00 15:30

金 8:45 12:15

### 海外旅行者事件簿より

精神医学的に見ると、飛行機の中は強いストレスがかかる空間なのだそうです。

そのためか、機内で起こるトラブルが結構あります。

機内で問題を起こして大損害

（実例1）飲みすぎて気が大きくなった男性乗客。酔いにまかせて、数人のスチュワーデスの身体をさわったため、到着地で猥褻罪で逮捕され、帰国が2週間延

びてしまった。

（実例2）米国からの帰国途中の機内で外国人といさかいを起こした男性搭乗客口論が高じて暴力に及んだため、機長の判断で飛行機はアンカレッジに緊急着陸。乗務員に取り押さえられていた男性は、空港で待ち構えていた警察官に引き渡された。1週間後に判決を受け、緊急着陸費用1万ドルを罰金として支払い釈放された。

その他にも、機内で酔っぱらい手に持った紙包みを爆弾だと冗談を言ったつもりが、乗務員に本気にされ飛行機が引き返し、多額の賠償金を請求されたとの新聞報道が以前ありました。また、上述した実例はたまたま男性ですが、機内でスチュワーデスに土下座させた女性客のことが一時週刊誌を賑わせたこともありました。

飛行機の中は密室であり逃げ場がありません。また、機内には警察官もいないわけですから、変な人物がいると周囲は大変恐怖を感じるようになります。こ

のため、航空会社はこの問題について断固とした対応で臨むようになってきており、損害賠償を請求するだけでなく、問題を起こした人物をブラックリストに記録し以後の搭乗を拒否するとか。

なお、実例の人達は、問題を起こしたときには、これほど大事になるとは思っていないかったそうです。しかし、周囲の反応は違います。機内の平和を乱す者には厳しい措置が執られることを覚悟した方が良いでしょう。例えば、お酒の好きな方でも飛行機の中ではまわりが早いのでホドホドにし、飛行機では寝て過ごすのが一番間違いなさそうです。どうしても眠れない人は、搭乗前に睡眠薬を処方してもらうのも、一つの手かもしれません。

「機内ではキレたらいけません。」

もう、出しましたか？「出生届」

海外で出生した子は、出生の日から3ヶ月以内に出生届をしなければいけません。

特に、海外で出生し、併せて外国の国籍をも取得した子は、出生の日から3ヶ月以内に出生届をしなければ、日本国籍を喪失してしまいますので、ご注意ください。

出生届その他の国籍関係届は、本籍地市区町村のほか、日本大使館・総領事館でもすることが出来ます。

最寄りの日本大使館・総領事館にご相談下さい。

前号「ドナウ通信(37号)」「領事部からのお知らせ」で、「国際交流基金の住所に誤りがありましたので訂正します。」

(誤) 1027 Horváth Mihály u. 14-24

(正) Japan Foundation

1027 Horváth u. 14-24

## 海外安全相談センター情報

### テロ事件への警戒強化について

12月17日、イラクがUNSCOM(大量破壊兵器の廃棄に関する国連特別委員会)の査察に協力していないとして、米国及び英国が同国に対し武力行使を行いました。こうした情勢に関連してテロ事件が発生する可能性も排除されず、引き続き注意を払っていく必要があります。

つきましては、現在のところ、イラク情勢に関連したテロ事件が発生する可能性に関する具体的な情報があるわけではありませんが、こうした事件が発生した場合には、旅行者、在留邦人、日系企業等が被害に遭うおそれもあるため、イラクを巡る情勢にも注意を払いつつ、安全確保には十分注意するようにして下さい。また、こうした事件が発生する可能性が高いと判断された場合、或いは、仮にそのような事件に遭遇した場合には、直ちに現地治安当局や滞在地の日本

国大使館・総領事館に御連絡下さい。

(問い合わせ先)

外務省領事移住部邦人特別対策室

電話:(代表) 3580 3311

(内線) 3048

## 弁論大会入賞弁論

高校の部 1位

「大胆になりましょう」

タリ・ジョーフィア

私は子どものころ、いつも夢がありました。その夢はつなわたりのスターになることでした。毎晩たくさんの人々がトーシューズと短くてきれいなスカートをはいている私をじっと見ます。どうやって細いつなの上でバランスをとるか。やさしくてきれいな夢でした。でも本当になりませんでした。私は高所恐怖症です。でも将来本当に夢を実現させようと思いました。

最近の多くの人は目的がありません。もちろんみなさんは多くのお金ときれいな車と大きい家がほしいけれどこれが全部です。人生で何をしたいか考えません。将来問題なく生活できる学校をえ

らびます。

私の意見ではお金をじょうずに使える能力がなかったら人生で不幸になります。お金が少なかったら貧乏な生活をします。考え方は人を金持ちにします。何かについて話すだけは十分じゃありません。たとえば「本当じゃない言葉は空にとどかない」と言うシェークスピアの言葉をいうことです。

このやさしい考え方をみなさん真剣に考えたら世界で偽善者はもういません。誠実さだけがあります。大胆になりましょう。そしてあなたの意見を表現しましょう。でもこれはボスに「あなたは仕事ができません。そして明るいピンク色の背広は似合っていない。」ということではありません。このことに気がついてやって見ると言うことです。

でもみなさんの意見を言わなければなりません。一番いい場合は家族で、何でも話し合う事です。人は考え方を話さなかつたら勇気がなくなりです。

大胆になりましょう。本当の自分にな

りましょう。このことは日本語よりハンガリー語で話す方がやさしかったでしょう。でも私は大胆になりました。そして、私の意見を言い到此へ来ました。

高校の部 2位

「漢字のせかい」

トヴィシュパタキ・エステル

ある日ある本で、日本の漢字を読みました。小さくて同じ形の文字が紙の上で散歩をしていました。ふたつの漢字を見はじめました。ひとつは戦いを、もうひとつは農場を意味します。農場と戦い。このふたつの言葉はぜんぶの日本語を説明しています。

ハンガリーから何千キロもはなれている日本はとてもきれいな国かもしれませんが。おとぎの国のようなかもしれません。日本のかくとう技がとても好きです。ある日両親は私を柔道を習いにつれて

行きました。たたかうことを習うためです。たくさんたたかっただけでなく、よくいたかったです。

そのときは、あとで日本語を勉強すると思いませんでした。そして背が高く、強い男の子のような日本語もたたかわなければならぬと思いました。

高校のはじめての日本語の授業では、まだ書くことはおもしろかったです。新しい文字は特別でした。別の知らない世界をしようかいてくれました。私は興味があつてゆうかんでした。教科書で漢字を見るまで。私の人生のはじめての漢字を見たとき、とてもおどろきました。でもほかのを見たとき、こわかったです。みんな同じでもむずかしかったです。今日も、日本人がかんたんに漢字を区別するのをおどろいています。私は何時間も小さい文字を書きますが、でも忘れます。人々のようにいらさせたり、よろこばせたりする、漢字をわかるのはむずかしいです。私にとって、全部の小さい漢字は別の小さい世界です。尊敬し

なければなりません。友達にならなければなりません。人は友達を簡単に忘れませんから。でももし漢字が友達になりにくいとき、たたかっただけで勝たなければなりません。ですから漢字の勉強はかくとう技に似ています。もっと簡単に友達になれればいいのですが。全部の漢字はマスクをつけた人々のようです。もし漢字がマスクをとつたり、私たちがとつたりしてなくなつたら、いつか知り合えます。漢字は人々のようです。たくさんいて、とてもちがいます。どうすれば、みんなと知り合えますか。

## 大学の部 1位

### 「門」

フォドル・ペーテル・ゲーズ

2002年1月1日から、EUでは新しい共同の「ユーロ」と言うお金ができました。「ユーロ」のお札には色々な門がかかれています。みなさんはこれをご存知ですか。

門は入口と言う意味だけでなく、その後ろの建物の権限もあらわしています。教会のきれいな門は神聖でなぞめいた部屋への入口です。そこからは一番偉い司祭だけが入れます。聖地の門はほとんど野獣や怪物のような恐ろしい生き物達に守られています。日本の神社の「からじし」も悪いものを中に入れません。門は宇宙の聖地に入る事も意味しています。そのひとつの例が「宮島」の鳥居です。鳥居と言う門は神道の特徴で、だいたい神社へ向かって列を作っています。「宮島」の鳥居もそうです。

鳥居の上は鳥の休む所です。それは昔、神が鳥の歌に助けられたからだそうです。「鳥」と「鳥居」と言う言葉が似ているのはこのためでしょうか。私も先生もその事を知りませんでした。どなたかご存知ですか。

ハンガリーにも色々な門があります。一番豪華なのは「セーケイ・カブ」と言う門です。「セーケイ・カブ」とはトランシルバニアのハンガリー少数民族の家の門のことです。

門についている太陽の飾りは悪魔を追い払う意味があります。門の屋根には門を守っている竜とへびがいます。柱は職人が心を込めて作った偶像になっています。

所有者の名前の彫ってある門はステータスシンボルになるのです。日本の鳥居の様に鳥が休む場所もあります。ハンガリーの門はハトの住む家になっています。門の下では人も休む事ができます。この場所は「ひげを乾かす所」と言います。私の考えではこれは中年の男性がの

ら仕事をさぼって休むいいわけではないでしょうか。

みなさん、夏目漱石も書いているように、門の下で休むよりも、門の扉をたたくだけではなく、実際に自分の手で扉を開けて中に入ってみましょう。門を開けたらその時そこから人、物文化の流れが生まれるでしょう。ユーロのお札の門はその願いを込めて、描かれたものなのです。さて、みなさんは、これからどんな門の前に立つでしょうか。

## 大学の部 2位

「おてんばっ子世にはばかる」

ナジユ・ジュルジュ・アンナ

私はほとんど毎週一回特別の事件があつて困ります。

例えば九月の初め、髪の毛にろうそくの火がついてびっくりしました。運良くはげませんでした。ですからこれはかつてではありません。それから、ある日は、はとが顔にぶつかつて来ました。しかし、けがはありませんでした。おとといは口腔溃疡スケートをしている男の子がぶつかつて来ました。

私には兄と二人の弟がいて、子供の頃いつも男の子たちと遊んでいました。自然の中で木に登ったり、狩人になって小鳥をとったり、野球やサッカーをしたりしました。その時しばしばけがをしたので夕方母は私をよく病院に連れて行きました。私は医者に毎年破傷風の予防注射を打ってもらいました。母は心配して

「気をつけなさい。」と言いました。「娘は何になるんでしょうか。」と父によく尋ねました。父は「心配するな。大きくなったら直るよ。」と答えました。父は間違っていました。大人になって私はますます困っています。

二年前のことです。冬休みに友達とスロバキヤの山に行きました。けがをしないようにスキーを持って行きませんでした。母には「心配しないで。おしゃべりしたり、ちよつと散歩するだけよ。」と言いました。残念な事に山では毎日天気が悪かったので一日中ホテルにいました。最後から二日目、私は「滝を見に行きましょう。」と言いました。私たちは滝へ向かって、川のそばの道を歩いて行きました。寒かったので川には厚い氷が張っていました。氷の上に大きい石が見えました。友達に「素晴らしいですね。あの石の所で私の写真をとってくれませんか。」と言いました。私は石に座りましたが、石の上にある雪が見えなかったので、「おととつと！」頭から氷の上

に落ちてしまいました。頭と手で氷に穴があきました。写真には石ではなく川のまん中にできた氷の穴しか写っていませんでした。ぬれた頭と手は白く凍ってギブスをつけたようになりました。それで滝を見ないでふるえながら急いでホテルに帰りました。

それから母が「娘は何になるんでしょうか。」と言うと、父はいつも「心配するな。憎まれっ子世にはばかる。」と答えるようになりました。皆さん、このような毎日を過ごしている人に会っても心配しないで下さい。もう父はまぢがっています。私も「おてんばっ子、いえ、憎まれっ子世にはばかる。」と思います。

## 補習校便り

九月に全校生徒五十二名でスタートした二学期も、去る十二月十八日に盛田常夫校長を迎えた終業式で無事に終了しました。子どもたちは、雪の中、またすっかり暗くなつた4時という遅い時間にも関わらず元気に登校していました。新たに転入した子どもたちのみならず、現地校と両立は子どもたちにとって苦労も多く大変です。その中で六名の無欠席の子どもたちを含め、多くの子どもたちが頑張つて登校できた事は素晴らしいと思ひます。

二学期は忙しいながらも充実して行われました。九月に仲川 寿一教諭を日本で行われる在外教育施設教員研修講座(十日間)に派遣し、帰還後校内で伝達の講習を行いました。バイリンガル(二カ国語の習得)は子どもたちにとつても大変難しく、逆に母国語(日本語)の習得が不十分なセミリンガル(どちらの言語で

もうまく話せない)の子どもたちも増えているとのことです。また、日常会話と学習言語(抽象言語)は違い、家庭や日本人と会話ができることと新聞や本を読むことは基本的に違つてつてです。学習言語は、学校などで学習しなければ自然には身につかないこと、身につかなければ言葉を使つて考えることが出来ないことで学習に大きな影響を与えることなど多くの情報を得ることが出来ました。この研修の内容を、今後の補習校の教育に生かしていきたいと思ひます。また、これとは別に、補習校では授業研究や教材に関する研修も定期的に行つていきます。三学期には、研究授業やアメリカンスクールなどの現地校の見学も予定しています。

また二学期からは、本格的なパソコン教育がスタートしました。運営委員会のご理解と野村證券や三菱商事のパソコンの寄贈によりまして、パソコンの整備が進みました。特に野村證券・鹿目俊郎氏には、たくさんパソコンを寄贈い

ただきありがとうございました。当初五台、後に二台を追加し七台で、教材室を整理したパソコン教室で授業を行っています。小学生にはパソコンに慣れ親しむことを中心に、学習ソフトを購入して使用しています。中学生や小学部の高学年には、ワープロなどを使い簡単なレポートの作成などもしています。

授業を始めて驚いたことは、まずは、子どもたちがパソコンを恐れないことです。使い方が分からなくても、どんなキーやマウスを使つて操作していきます。時々ハンゲアップ(パソコンが一時的に止まる)やエラーを出すこともありますが、恐れないでどんどん使つて行く姿勢は大人も見習うべきかなと思ひます。メンテナン스에追われる私たちを後目に、すごい勢いで上達しています。

また、アメリカンでタイプを習つていけるせいか、キーボードを使つてスムーズに入力できるのにも驚かせられました。日本では、キーボードで入力するのが一つの関門で、入力がうまく行かないため

にパソコンをうまく使えない子どもたちが多いのです。中学一年生は、ワード（ワープロ）を使って、大変素晴らしい歴史のレポートをまとめました。中学生になりますと、大人も顔負けの早さでキーボードから入力できます。また、INTERNETを使って文化祭に使うアニメの画像を集めたり、アメリカンスクールのレポートに使う火山や地震の画像や情報を集めたりしていました。

パソコン教育はまだ始まったばかりで試行錯誤が多いのですが、二十一世紀を指す子どもたちに役立ってあげばと考えています。あわせて保護者向けに（主に母親向けで）パソコン教室を開いています。こちらも将来が楽しみです。十一月二十一日には文化祭がありました。低学年の子どもたちも参加できて楽しめるものを、中学生を中心に高学年の子どもたちが、企画・運営する行事として今年度新たに取り入れました。

初めての行事で不慣れなことや時間が少ないこともあり、子どもたちには大

変でした。話し合いの結果、今年はお店と発表を中心に行うことが決まりました。中学生は、自分たちのお店だけでなく、全体のプログラムの取りまとめや準備など大変だったようです。特に中学三年生は、成功させなければというプレッシャーの中、プログラムや教室の振り分け、チケットの印刷や細かなルールや準備などよく頑張りました。彼らの頑張りというリーダーシップが、今回の成功の大きな原動力となりました。また、自分たちが決めたものに全力で取り組む子どもたちの姿も、大変素晴らしかったです。

当日は、小学一年生は紙芝居の発表、二年生は御神輿とシャボン液屋さん、三年生はヨーヨー釣り、四年生は、ボーリング場、五年生は射撃（的当て）、六年生は風船掘（紙の魚を釣り針で釣る）、中三は、お好み焼き屋とアニメの展示でした。保護者の皆さんやハンガリー人の知人などで、当日は大変な盛り上がりでした。子どもたちの生き生きとした、満足そうな顔が印象的でした。

## 児童作文

### ぶんかさい

三年 谷野 史織

まえの土よう日は、ぶんかさいでした。わたしのクラスは、四人しかいないので四人でできるものを考えました。あきえちゃんも、

「紙しばいがいい。」

と、言いました。それも「ちいちゃんのかげおくり」でした。でも、やめました。だって四人しかいないのに、この作品にはたくさんの人が出てきます。だからヨーヨーつりにしました。

さいしよの日には、ヨーヨーを二こ作りました。ぶんかさいが近くなると、六十五こ作りました。二日前にははやくヨーヨーを作らなければと、いつしようにんめいじゅんびをしました。

ぶんかさいの日、さいしよは雄人君と薫子ちゃんがお店番でした。わたしは章

恵ちゃんではかのお店をまわることにしました。わなげとボーリング、魚つり、しゃてきにいきましました。そして、ヨーヨーつりの店番をしました。

「いっぱい人が来ました。わたしはこよ（紙縫）を一生けんめい作りました。でもお客さんがいっぱい来ました。たりないので、また一生けんめい作りました。いそがしいので雄人君や薫子ちゃんをむかえにいきました。それでヨーヨーは全部売り切れました。とても楽しかったです。」

## おもしろかった文化祭

三年 大河内 薫子

三年生は、ヨーヨーつりのお店を出しました。人がたくさん来てくれて、たくさん釣ってくれてお店番も楽しかったです。

水の中に手を入れると、つめたくて手がしびれました。でも、みんなが楽しそう、おもしろそう、ヨーヨーもたく

さん売れてとてもよかったです。

ほかのお店をまわっているとき、お母さん、お父さん、妹に会いました。

「楽しい？どう？」

ときいたら

「うんっ！とっても楽しいよ！」

よ言ってくれました。とってもうれしくて、気持ちよかったです。

いい気分、雄人君といっしょにおこのみやきを食べて、わなげをして、魚つりをしてしゃてきをしました。とても楽しかったです。

来年も文化祭をやりたいです。

## 初めての文化祭

四年 平尾 奈々恵

「いらっしゃい。」

十一月二十一日は、楽しい文化祭でした。そこには、いろいろなお店がありました。

私達、四年生はボーリングをしました。ボーリングのピンがなかったので、ペットボトルに水を入れてバスケットボー

ルをあてました。私達は、グループを前半と後半に分けました。

私は、前半に仕事をする事になりました。私は最初、後半をやりたいなあと思っていました。でも仕事をしていたら、ずっと仕事をしていたいように思いました。お客さんがボトルをあてたとき、私はボトルが

「いたい。」

と言っているようでした。十二時になったので、私はいろいろなお店に行きました。とてもおもしろかったです。私は、来年も文化祭だったらいいなあと思いました。

## 楽しかった文化祭

四年 泰 弘典

「らっしゃい、らっしゃい。」

と、かけ声をかけながらお客さん集め。

ぼくは、ボーリングの「線を見る」係なのに、なぜか「お客さん集め」の係になっていました。お客さんは、たくさん

来ました。だけど大声を上げているうちに、声がかすれてきました。しかし、がんばりました。

やっと十二時をすぎ、仕事をこたうたいして遊びの時間になりました。最初に行ったのは、魚つりで、おかしを三つもらいました。次に、わなげに行き、ロウソクを取りました。次にお母さんがいたお好み焼きのところで、ちよつと早めのお昼ごはんにしました。そのあと、後かたづけをしました。とってもおもしろい文化祭でした。

## 初めての文化祭

五年 上原 彩香

十一月二十一日の文化祭で、私達は「しゃてき」をやりました。今までずっと学習発表会だったので、初めてお店をやっておもしろかったです。私達は、一ヶ月前ぐらいからお店の準備をしました。でも、すごく大変だとかは思いませんでした。実際にやると、本当に楽しか

かったです。知っている人がたくさん来てくれたし、商品も全部売れたし言うことなしといった感じでした。

私は、文化祭の中で一番おもしろかったのは、中学一年生の劇でした。島田先生役の鹿目はるなちゃんは、おなかがふくらんでいて見ていて苦しそうでした。休み時間にソフトボールをしている場面では、島田先生（はるなちゃん）がお腹でボールをはねかえして痛くなかったのかなと、今になって思いました。次に出てきたのは西田先生役の近藤千洋ちゃんです。竹取物語で、昔の人はどうやってプロポーズしたかを、鹿目はるかちゃんが「和歌」と答えました。「和歌」という意味が分からなくて、「バカ」と聞こえました。私は、のりちゃんに「和歌」って何ってと聞いてみたら「わかんない。」と言いました。仲川先生役のはるかちゃんは、タバコが言っていたけど本当かな。園部先生役の園部清子ちゃんは、ほんとうにあんな風に教えているのかなあと思いました。

## 文化祭までの準備

五年 山仲 雅子

今年初めて文化祭があつた。みんないろいろと勉強に追われながらも、文化祭の準備をがんばった。

わたしたち五年生は、しゃてきの店を出しました。的に絵をかいたり、何年生は何m（メートル）はなれるか決めたり、どこでやるかなどいろいろと話し合つた。けつきよく場所は階段の正面でやることになり、的の数は三十こ近くになつた。でも、それだけあれば十分だった。だって中の何等かを、変えればいいからだ。

いよいよ準備の最後の日がきた。みんないろいろな店を出していたので、わたしはびつくりした。だって、こんなにあるとは思わなかつたからだ。ヨーヨーつり、ボーリング、わなげなどいろいろあつた。わたしはヨーヨーつりが好きだったので、とつてもうれしかった。今年の文化祭はとつてもおもしろかった。

## 随想

### 「ハンガリーへの思い」

天野 泰次

四年と四ヶ月生活したハンガリーを十一月二十日に離れることになりました。これは我が愛するハンガリーへの思いの一部です。

一 ブダペストはこの百年の間にありとあらゆる事を経験した現代史の縮図のような都市です。

オーストリー・ハンガリー帝国時代の繁栄と国際都市の誕生、ブルジョアジの誕生と文化・芸術の開花、第一次大戦の敗北と領土喪失・王国の崩壊、ユダヤ人と非ユダヤ人、ナチスドイツと第二次大戦の敗北、ソ連の支配とハンガリー動乱、一党独裁放棄と民主国家の誕生、市場経済と経済疲弊、外資導入とNATO加盟、そして…。これからの百年ハン

ガリーはどう変わってゆくのだろうか。

二 赴任地ハンガリーは私が大学生になる五年前の一九五六年、フルシチョフのスターリン批判・秘密報告に続いておきた世界的大事件「ハンガリー動乱」の国でした。それを契機に日本でも新左翼が誕生し、アイザック・ドイッチャー訳のトロツキー「我が生涯」に感動したことが記憶の片隅にありました。

日本と世界の共産主義運動に深刻な影響を与えたこの事件もソ連・東欧の崩壊、冷戦の終了とともに今日的意味を失い、完全に風化しました。

三 ハンガリー人との話で良く聞く話の一つに、ハンガリーは第一次大戦で領土の三分の二を失った…。

繁栄した良き時代への郷愁か、今も同胞の住むスロバキア、ルーマニアとの問題でいやでも思い出させられるのか、民族主義的感情の発露か、或いは単なるお話の種だろうか、ハンガリー人のノーベル賞受賞者の数は頭の良い民族であることのPRだと思うが。

もしハンガリーが領土とともに非マジャール人を離していなければ今ごろは旧ユーゴスラビアのようになっていたでしょう。

四 アンドラーシュ通りは今でも美しい通りです。

オペラ座、両側に並ぶ貴族の邸、列国の領事館、飾りのついた鉄製の柵、マロニエの並木、通りを走り抜ける馬車。今でも百年前を思いださせる雰囲気があります。

それにひきかえ、ブダからペシュトを眺めるときハイヤット、インターコン、マルオットのホテルとルーズベルト広場に面したビルの醜悪なこと。つぶして建て直したい。

五 電気を点けても外資、ガスも水も外資、テレビをつけても電話をかけても外資。外資の車でスーパー「コーラ」か「オーシャン」へ。だけど衣食住はハンガリーよ。

日本はどうしてこうも衣食住が高いのか。僕はサービスが良くて安ければ日

本でも外資大歓迎です。

六 盛田先生が叫んでいたことが漸く通じたのか今年のいつ頃からか空港ターミナル2のパスポートコントロールが明るい対面式になりました。対応もソフトになった感じ。以前と比べ何と快適なことか。だけど…。

ホテルのチェックイン・カウンターに列を作る客、対応している係員は一人後ろで眺めているだけのマネージャー風の男。コンサージのカウンターには男が二人立っている。

レストランでいくら呼んでも振り向かないウエイター&ウエイトレス諸氏。高い磁器を売るヘレンドショップも今一つ、高くても安くとも商品に貴賤はないか。

何故ハンガリー人はサービスがこうも不得手なのか、したくないのか、わかっていないのか。

ついでに…入国時又は出国時、預けた荷物が開けられていることが相変わらず多い。ブダペスト空港だという証拠は

ないが多いに怪しい。先般JALウィーンに他のエアラインと共同で空港当局に苦情と巡回チェックを申し入れるようお願いしたがやってくれただろうか。

七 そうそう、十月に妻とパリに行つたときの「パリの偽警官」のお話。これも楽しい思い出。

日航・ド・パリ近くの通りを昼に散策中、若い男が僕を呼び止めて「エッフェル塔は何処？」(すぐ近くじゃないか)、次に「シャンゼリーゼは何処？」(どうもおかしいな)、それに妻が僕を手招いている、…と知っている所へきちんとネクタイをしめた伊達男風がどこからともなく現れて一声「パスポート！」。

途端に思わず笑っちゃったよ。すぐその場を離れたが相手もこちらにはブダペストで鍛えられた猛者だとはさすがにわからなかつたでしょう。

あれもこれもみんな愛するハンガリーへの思いです。

## 日本レストランの流れ

外間 勇清

現在、日本レストラン（寿司店を含む）は六軒あります。日本レストランが初めて出きたのは、今から十二年前（一九八六年）でした。その頃は共産党時代で、その時に、日本人（藤沢さん・個人）とハンガリー側のケレトペスト食同公社との共同出資でできたのが、皆様が知っているエルケル劇場の前に有るヤパンエテレムです。

そのヤパンエテレムがハンガリーで口開となつていきます。本家ヤパンエテレムの経営困難を知人の紹介で知り、現在のジャパンコープ（サライ）がハンガリー側の会社から借りて、一九九一年の夏頃からジャパンコープが経営、現在に至っております。

そして、本家ヤパンでマネージャーとして働いていた方が、四季レストランを九十六年の二月にオープンして現在に

至っております。また、今年（九十八年）

の三月頃にも、上原さん一家でありがとうをオープン、これは日本の家庭料理のレストランです。上原さん本場に頑張っております。そして、同じ今年の八月の中旬に私とハンガリー人の友達と共同出資でケークラグーナ（砂州湖）をオープンしました。私共のレストランは、皆さんがよくご存知の旧スカンプです。ケークラグーナは、ハンガリー料理と日本料理（刺身・寿司を中心とした\*予約により懐石、会席を致しております）のレストランを致しております。

これらのレストランの経営者は、皆ヤパンで働いた事の有る人です。

一言、私の料理方法は、御客様の健康を考え、塩分・糖分をものすごく少なくしております。

そのお陰で、ごぶと味淋・酒の味の深味が出てきましたし、醤油の量も少なくなっております。（醤油は十六%の塩分があります）料理を味わってもらい、御客様の健康の御手伝いできればよいと思

っております。

## 日本食と材料の調達

今では、そんなに困難なく食材が手に入りますが、十二年前は本当に大変でした。また、ウィーンに買い出しに行っても、今ほど魚の種類は有りませんでした。ハンガリーで、手に入る品物に比べれば、はるかに鮮度は良い。また、ハンガリーで手に入る魚と言えば川魚の鱒・鰻などで海の魚はほとんどない。あっても、冷凍で焼けていて、色が黄色に変色して臭くなっている。まず使い物にならない。でもスモークサーモンで、半身のスライスなしが時々手に入ったし、また、生の冷凍のシャケが有りましたが、照焼きと、天ぷらの台物にしか使えませんでした。これが共産党時代の事でした。またその当時の日本料理（ハンガリーでの）は、スキヤキ、シャブシャブ、天ぷら、焼き鶏、ワンパターンでした。その時代に私は三年間の契約で、ハンガリーに日本料理を教えに来たのですが、ハンガリー側

の事情で二年で帰国する事になりました。その後、私が自費で、ヤパンに調味料、調理器具など三年間送っておりました。その三年間は、日本人無しのレストランとなっておりましたが、前に書いたように、現在ヤパンを経営されているジヤパンコープのサライさんが、新規オープンで、新鮮な魚を仕入れるようになりました。でも、これは時間がかかりました。そのルートは、私がロンドンで仕事をしていた時の食品業者に送ってもらったからです。初めは、電話で問い合わせたのですが、だめとの事、それで私はロンドンに飛んで、三日間の交渉でやっとOKの返事でしたが、大きな問題が一つありました。それは衛生証明の事でした。そうした、その物々を経て、二代目のヤパンを新鮮な材料を手にしてオープンする事が出来ました。これで、日本料理として恥ずかしくない材料で御客様に御出しする事が出来たのです。そのお陰で、現在の刺身・寿司が食べられるようになったのです。

今では、外国産業のルート、大規模のスーパールートなど、また、空輸による輸送など、日々開拓されております。それは外国レストランが増えているからだと思います。

今、時点では、日本みたいには行きませんが、なぜならば材料の調達に波があり、材料にも波が有りますが、でも、日本料理の元である、コースメニユー懐石、会席料理を出して来れるレストランがどの位有りますか、疑問です。

今の材料の調達の中でも、素材を生かした懐石を造る事が出来ます。ですから、経営と職人とで本当の日本料理を紹介して行く必要が有ると思います。それは、料理人の勤めだと思えます。

(リバマイの日本風の作り方)  
リバマイ三百グラム〜四百グラム  
ポン酢ソース、七味・一味唐辛子  
青葱の打ち、レモン

リバマイはさつと水で洗ってから、皿

に置いて、ワインを掛けて、水から沸騰させます。沸騰してから、二十分〜二十五分位蒸します。そして、十分くらいそのまま置いてから、生温かい位の時に、薄く切って皿に並べまして、冷やしてから食べます。

\* ガスの大きさによって分は異なります。

## 初個展までの道程

ハンガリーが

私に与えてくれた物

香西 景子

三年半前、ここでの生活が始まった当初は、本当に大変だった。一週間、十日と過ぎるにつれて、好奇心は殺々現実にかき消され、暗い気分が襲ってきた。家具の少ないガランとした広い部屋の壁に、押し潰される様な不安感。初めてのお産を経てまだ二ヶ月の不安定な精神状態の上に慣れない生活。気もそぞろに、乳呑児を言葉の通じないベビーシッターにあずけ、気晴らしに外出すれば毎度のように、右も左も言葉も分からない外国人に対する冷たさに会う。シヨッピングの楽しさどころか、実にダメージを受けてヘトヘトになって帰って来たものだ。今ほど店や行く所も多くはなく、まだ友人も少なく、こうして落ち込む私も例にもれず、“カルチャーシヨック症候

群”だった。ベビーの会に参加して閉じこもらないように努めたり、ハンガリー語を習い始めたりと色々やってみた。それでもいつか自分は何がしたいのか、どうしたいのか分からなくなる。そしてこれからずっと先、年老いてから何をしているのだろうと、先の事まで考えてしまい、今以上の不安が一瞬よぎった。そんな時、子供は本当に救いになってくれた。ずっと顔を見ていると、今この時の姿を留めておきたいという切なさにかられる。写真を沢山撮ってみるが、何か物足りない。「そうだ、絵に描いておこう。」などと思いつく。が、子供は動き、全くじっとしていない。十枚、二十枚とデッサンしてみるが旨く行かない。

一年も過ぎた頃生活にも少し慣れ、ハンガリー語も少々、と、もう少し周りを見る余裕が出てきた。日本に居た時よりもっと身近に文化、芸術に触れる機会が多くなり、刺激を受ける事しばしばである。再び奮起、何枚目かのデッサンで、もうすでに一才半になっていた息子の

顔がやっと完成。周りにはもう夏景色。素朴な矢車草の薄紫色があたり一面に美しく、本当に絵を描きたくなった。取り付かれた様に油の画材を買ってきて、一心に描いた。何だか分からないけど描いた。これはいよいよ本格的に勉強したくなってきた。誰か先生に就こうか。けれどもずっと以前勉強していた時の事を思い出すと決心なかなか成らず、焦る。もし自分に全く合わない教え方だった場合、逆効果なのは経験済みだ。しかしとうとう知人に、女流画家の先生を紹介してもらい、思い切って訪ねる事にした。十一区の行ったことのない場所へ、地図

を頼りに車を走らせる。やっと着いてオズズとベルを鳴らすと、想像とは遠い明るいチャーミングな女性が出迎えてくれた。先生の名前は、セーフファルヴィ・アグネス。聞いていた通り英語も堪能で、ホツと安心する。アトリエに通され、ひととおり作品を見せてもらった。彼女の作品は主に女性をモチーフにしている。初対面ですっかり意気投合して、御教授願う事になった。その時一言、もし私に少しでも素質があるなら、只の趣味としてではなく真剣に描いて行ける様、教えてほしいと頼んだ。

これからが楽しく厳しい戦いの始まりだ。約二十年ぶりにデッサンの勉強の為にとる鉛筆。学校時代に美大受験生と肩を並べて、美術研究所で石膏デッサンの勉強をした事が頭に蘇る。辛くて、つまらなくて、絵を見るのさえ疎ましくなるほど嫌いにさせられた。とうとう美大も受験せず他の学科に進んだ。そして今、目の前のモチーフを前にすっかり腕が固まってしまった。どうにも堅い。デッ

サンは絵を描く上の腕慣らしだ。スポーツの練習の様なものといえる。いかに勢い自由に自然に、そして巧みに描ける様になるか。緻密に描くという事でもない。なんとか昔やったアカデミックな石膏デッサンの堅さから脱出しなくてはならない。来る日も来る日もデッサンが続く。レッスンでも家でも、並行して、ペンや水彩でのクロッキーを何枚も何枚も描く。その他にも色々な勉強法を試みた。その間、先生は実に根気良く忍耐強く、そして決して自分のスタイルを無理

に押し付けたりせず、私の個性を尊重しながら指導してくれた。ここまで考えてくれるのかと、感心するほどありとあらゆる課題や勉強法を与えてくれる。とても手間暇のかかっている事ばかりで、それは短い間に凝縮された大学のカリキュラム並みだ。お陰で腕も大分柔らかくなった。

そして半年以上が過ぎ、やっと油絵のレッスンが始まる。自己流では描いていたけれど、いざ始めてみると慣れない絵の具との葛藤だ。家でも描いて描いて、夜寝る前にもキャンヴァスの前に立った。寝巻のまま筆を持って一時、三時になることもしばしば。好きな画集を開いては、昼も夜もにらめっこ。宛ら教科書である。そして最終的にヌードデッサンが始まった。一度は勉強しておくのも大事と言われるヌード。個人でモデルを雇って勉強するのは大変な事だが、先生がわざわざモデルを探してくれて、それも叶う事になった。それは静物やら他の物を描くのは全く違う何かを与えてく

れた。とても強い緊張が続き、段々ほぐれて来ると、腕が伸び伸びと自由になって、頭の後ろの遙か向こうから来る力が描いている様な、そして水中で自由に体を動かしているような気分だ。しかし、ここまでの心地よい緊張は、かなりのストレスにもなつて、少々体調に響くほどだった。

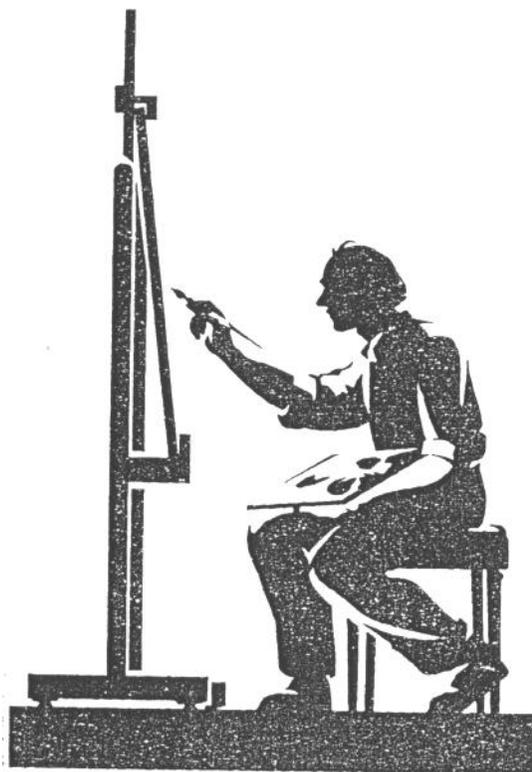
一年が過ぎ、ここで勉強出来るのもあと一年。九十九年は帰国予定だ。そこで日本に帰ってからもずっと続けて行く支えと、自信を持つ為にもここに居る間、一度個展を開いてみたいと、恐る恐る言ってみた。ハンガリーは日本以上に経歴を問うところがあり、ビギナーや無名の、しかも外国人に最初から場所を提供してくれる所は、なかなか無い。それでも先生は快く承知してくれた。まずは作品の見本帳を作つて、何軒も何軒もあたつてみる。彼女は、自分の事のように一生懸命探してくれた。数ヶ月後やっと二・三ヶ所、作品を見てもらいOKしてもらったが、こちらの希望の時期に空いてい

る所も限られ、夏の間も人が居ないのでこの話は中断。やはり少々無理だったのかと、ほとんど諦めていた。残念だが半面、その大変さを思うと少々ホツとしたのも正直なところだ。しかし、九月も半ばになって再び場所が見付かつたの知らせ。とっても嬉しく飛び上がる思いだったけれど、ドキドキの緊張も訪れた。あわてて招待状の手配、招待する人のリストアップ。日時は十月三日。もう十日ほどしかない。作品整理や、場所の下見、あれこれ忙しい。日本からも絵を描いている叔母が応援に来てくれた。招待状を投函すると、緊張と不安はピークに登り、当日の事が心配で落着かない。もしかしたら誰も来てくれないのではないかしら。自分の作品なんか人に招待するなんて厚かましいかな、などなど。大それた事やっちゃったなという思いでハラハラ。

いよいよ十月三日土曜日。朝から先生夫妻に手伝ってもらつての会場準備。招待状手配、会場と全てがこれから先の為の勉強と、ポイントを一つ一つ指導してもらつた。オープニングは夕方六時。待ち遠しくも恐ろしく。六時少し前より来客の姿がチラホラ。来る人来る人にお礼の挨拶をして、六時には想像を越えてとても多くの人々が集まってくれた。日本人も、ハンガリー人も一同に暖かく見守る様に囲んでくれている中、先生によるオープニングスピーチが始まり、もう体はコチコチで頭の中は真白だ。そしてスピーチが終わると、急にここまでの道程が思い出され、感無量。思わず先生と抱き合い、不覚にも目から大粒の涙がポロポロこぼれ、止まらなくなつてその場で俯いてしまった。

そんな私に一人一人が、日本語で、ハンガリー語で声をかけ励ましてくれた。その温かさ優しさは、どれほど力強く支えになった事か。いろいろな人と話し、評をもらつて、この個展は私にとっては

大成功だった。終わってみてホッとすると同時に、もう後には引き返せないという思いと、老いてまでやって行けるものを見つけた幸福感、自分がやっとなんか見つけたという思いでいっぱいだった。日本に居て生温かい生活の中では何も思い付かず、私の人生は何も変わらず、ずっと何かを探していたかもしれない。日本には何でもあつて、お金を出せばカルチャースクール、専門学校、ヨーロッパ美術学校受講ツアーなど。でも今時、誰が只の主婦の私をここまで一生懸命育ててくれるのか。大袈裟かもしれないけれど、ハンガリーに來た事、今となつては運命的な物さへ感じてゐる。そして、素晴らしい先生にめぐり逢えて、嫌いになりかけた絵を再び無くてはならないものにしてくれた事への感謝の気持ちで一杯だ。この後又、どこかの国に暮らす機会があるだろうが、ハンガリーへの思いは特別に一生大切に仕舞っておきたいと思う。



## 1 大がかりな確率の実験

毎年初冬には恒例の日本人会総会があり、今年も特にその付録のイベントでは、大変楽しい時をすごさせていただいた。イベントのひとつの福引大会は118回以上もため息と歓声の熱気あふれる「賭」がなされ、筆者にとっては確率の壮大な実験の場ともみえた。そこでその確率の数理を紙と鉛筆とパソコンで調べてみた。これはその報告。

この福引のルールは次のようである。参加者は福引券を何枚でも好きなだけ買う。それぞれの福引券は本券と副券と対になっていて両方に券固有の同じ番号が記されている。本券を買い手に渡し、副券を抽選箱に入れる。こうしてさて、よくかき回した抽選箱から1枚の副券を「無作為に」選ぶ。これと対の本券を持っている参加者が当たりである。この当たり券は箱に戻さない。次の抽選に進む。これを賞品の数だけ繰り返す。

さて今年はこの福引券が一枚500Ftで、1065枚売れたそうである。因みに参加者は約200人だそうだから、1家族平均2人とすれば100家族、1家族平均10枚買ったのかな、ということになる。また賞品は118点あって価格の総額が320万Ftとのことである（だから賞品1点の平均価格は27000Ft）。1065枚のうちに当たり券が118枚あることから「9枚に1枚は当たり」である。うん、そうか、では4500Ft投資して9枚買って27000Ftの賞品を貰おう。これは悪くない賭だと考えた人もいるだろう。もっとも、これらのオッズは発券が締め切られた後に判るものだけでも、こうして、さて結果はどうだっただろう？ 絶妙な司会進行をされた小田さんは、118回の抽選の終わり頃、まだ一度も当たっていない人に挙手を求められた。数える時間がなかったが30人位が手を挙げられたように思う。その一方で5回も6回も当たった幸運な人が予想外に多かった(4.5人?)、「あ、あの子、さっきも出てきた」。昨年もそのような「予想外との印象」を持った。そんな現象が数理的にどのくらい稀なのか確かめてみたい。

## 2 確率の問題として

確率の問題らしく書く。ある特定の個人に注目する。それは「あなた」である。そして抽選箱に入っているあなたの副券にだけ赤い色が塗ってあるとしよう<sup>1</sup>。こうしてわれわれの問題は次のようになる：「抽選箱の中に $N$ 枚のカードが入っている。その中に赤いカードが $r$ 枚ある。1回の抽選とは抽選箱から1枚のカードを引き、赤かどうかをみることである。この引いたカードは箱に戻さない。さて $k$ 回の抽選で丁度 $s$ 回だけ赤いカードが出る確率はどのくらいか？」<sup>2</sup>。以下、われわれの大会の実績を尊重して、 $N = 1065$ 、 $k = 118$ として固定することにしよう。

## 3 20枚買って5,6回当たる確率は5.7%

次頁の表が付録に載せた式による $r = 5, 10, 20, \dots$ の時の $s = 0, 1, 2, \dots$ の確率の値である。

<sup>1</sup>そうしなくても、以下で「赤い」の代わりに「あなたの」と書けばいいのだが、日本語の「あなた」は窮屈であまり頻繁に使いたくないし、さりとて代わりの適切な言葉もない。

<sup>2</sup>ここで勿論、 $N \geq k \geq s$ 、 $N > r \geq s$ である。

ここに、 $N$  (抽選券の総数) = 1065,  $k$  (抽選の回数) = 118

$s$ の値	$r = 5$	$r = 10$	$r = 20$	$r = 30$	$r = 50$	$r = 100$
0	.5552546	.3073991	.0933740	.0280198	.0024302	.0000043
1	.3474022	.3867068	.2374598	.1080501	.0159669	.0000594
2	.0861145	.2168276	.2841083	.1994635	.0509113	.0004054
3	.0105707	.0713532	.2126230	.2347310	.1049903	.0018073
4	.0006425	.0152602	.1116213	.1978392	.1574563	.0059227
5	.0000155	.0022161	.0436904	.1272007	.1830823	.0152156
6	-	.0002213	.0132289	.0648866	.1718297	.0319146
7	-	.0000150	.0031727	.0269659	.1338143	.0562056
8	-	.0000007	.0006121	.0093032	.0882176	.0848261
9	-	.0000000	.0000959	.0027014	.0499835	.1114278
10	-	.0000000	.0000123	.0006671	.0246280	.1289676
11	-	-	.0000013	.0001411	.0106521	.1328210
12	-	-	.0000001	.0000257	.0040751	.1227061
13	-	-	.0000000	.0000041	.0013875	.1023795
14	-	-	.0000000	以下略	以下略	以下略

この表の読み方を  $r = 10$  の列を例にとり、つまり 10 枚買った場合について考えてみよう。全部外れの確率 ( $s = 0$ ) は 30.7% であることをこの結果は示している。10 枚買って、1 枚も当たらない確率が 0.307 ということはどういうことか？ 主張できるのは「同じ試みの繰り返しの回数が多ければ多いほど、その頻度がこの値に近づく」ということだろう。繰り返しが同時であってもよい。あの大会で 100 人がそれぞれ 10 枚買ったとしよう。そして何も当たらなかった人が 3 割位いるだろうという粗い言い方ができる。まだ一度も当たっていない人として挙手された人が 30 人位いた事実はこれを裏づける。この試みの数が増えれば、この数値 0.307 が実は精密なものであることを実証できるだろう。10 万回の試みで 30 700 人という数はかなり正確なものになるだろう。あるいはブダペストに永住して毎年 10 枚ずつ買い続ける。1 枚も当たらなかった年の割合は、長い間いればいるほど 0.307 に近づく。これは「大数の法則」として知られている<sup>3</sup>。さて、表に戻って、1 回当たる確率は 38.7% で上の 30.7% よりも大きい。2 回当たる確率は 21.7% でこれは 1 回当たる確率よりも小さい。冒頭に記した「9 枚で 1 回当たり」を反映している。これを拡張すると、9 の何倍かの枚数を買えばその倍数回当たる確率が最も高いということになり、事実、この表からそれを読みとることができる。最も基本的な性質だろう。

$r = 20$  の列に移ると、この「9 枚で 1 回当たり」から 2 回あたる確率が最も高く 28% である。1 度も当たらない「ついていない」人も 10% 近くいるだろう。その一方で 5, 6 回当たった人も (4.4+1.3)% いておかしくない。20 枚買った人が 50 人いたとすれば、3 人弱である。だから、あの大会の実際の結果は「予想外」というよりは「幾分多いようだがあり得る」ことなのだろう。そしてこの程度に「ついている人」と「ついていない人」が散らばることをこの数値表は教えている。

最後に、この投資でどのくらい還元が期待できるかを考えてみる。5 枚買うとしよう、1 回当たる確率は 0.347 だからこれによって  $0.347 \times 27000Ft$  が期待できる。2 回当たる場合には  $0.086 \times 2$

<sup>3</sup>このように確率は、個々のイベントあるいは一回限りのイベントの場では殆どなにもいえない。個人は自分の未来を予測できず、たとえば仕方なしに保険に入り、その保険会社は大数の法則が成り立つような多数の個を集めて賭でない確定的ともいえる運営が出来る仕組みである。

回  $\times 27000\text{Ft}$ . 1回から5回までのこれらの和を計算すると、実は  $k \cdot r/N \times 27000\text{Ft}$  に等しくなる。そして  $k/N \times 27000\text{Ft} = 3000\text{Ft}$  だから、2500Ft 投資して5枚買って15000Ftを期待するのが確率的に最も確からしい。実はこの値は  $r$  によらないから<sup>4</sup>、この間の大会では3000Ft 期待できる賭を1回500Ftを投じてしたことになる。

金額の多寡の上ではそうなるが、それよりも興奮とスリルを、それに少しの確率についての関心を「期待」できるほうが価値が大きい。特等が当たらなかつた場合にはそう思いたい。

#### 4 この次の福引大会は?

「ドナウ通信」盛田編集長から原稿についてコメントをいただいた。彼は、方法について1人(1家族)あて1枚しか発券しない(ただし数千Ft)という案を提案されている。半数の人たち(または全家族)が当たるという意味で平等に近くなるだろう。しかし年末に1回くらい、結果がしばしば不平等であるような射幸的催しがあつてもよいと筆者は考える。それに、初めの方で小さな賞品に当たってしまったら、その後の長丁場を過ごすのに忍耐が必要だろう。皆が最後まで当事者として参加できることも重要ではないか。盛田案を修正して上限を10枚に制限するのはどうだろう。今年も多数回当たった人が後半の当選を辞退される光景が見られた。参加者の実時間の知恵で方法が修正されているのである。10枚であれば多数回当たる確率は、20枚に比べて、大雑把に言って、ずっと小さくなることは上の表が教えている。

#### 5 付録; 数式に関心のない人は以下をとばして下さい

この確率を表す式(確率密度関数)をもとめる。はじめに、 $s = 2$  の場合について、 $k_1$  回目と  $k_2$  回目だけに赤いカードの確率  $P(s = 2; k_1, k_2)$  (ここに  $1 \leq k_1 < k_2 \leq k$ ) を具体的に書き下してみる。それを  $s = s$  の場合に拡張する。

はじめの  $(k_1 - 1)$  回の抽選で一度も赤いカードが出ない確率は、 $(k_1 - 1)$  回の毎回それぞれの確率の積で表される。その積を順に書けば次のようになる:  $\frac{N-r}{N} \cdot \frac{N-r-1}{N-1} \dots \frac{N-r-(k_1-2)}{N-(k_1-2)}$ . 次の  $k_1$  回目にはじめて赤いカードの出る確率は  $\frac{r}{N-(k_1-1)}$ . 同様にして  $(k_1 + 1)$  回目から  $(k_2 - 1)$  回目までの抽選で一度も赤いカードが出ない確率は:  $\frac{N-r-(k_1-1)}{N-k_1} \cdot \frac{N-r-k_1}{N-(k_1+1)} \dots \frac{N-r-(k_2-3)}{N-(k_2-2)}$ . 次の  $k_2$  回目に赤いカードの出る確率は:  $\frac{r-1}{N-(k_2-1)}$ . 残りの抽選で一度も赤いカードが出ない確率は次の  $(k - k_2)$  個の積で表わされる:  $\frac{N-r-(k_2-2)}{N-k_2} \cdot \frac{N-r-(k_2-1)}{N-(k_2+1)} \dots \frac{N-r-(k-3)}{N-(k-1)}$ .

求める確率  $P(s = 2, k_1, k_2)$  は、これらの5つの確率の積に更に  $k_1, k_2$  が  $k$  の中を動き回れる場合の数  $k(k-1)/2$  を乗じたものである。その分子側、分母側共に引き続いた整数の積のいくつかで成り立つ。一般化は容易で、少しの退屈な計算を通り抜けて、簡明できれいな結果を得る:  $N, k, r$  を与えたときの  $s$  回当たる確率(密度関数)を  $P(s; N, k, r)$  とすれば、 $P(s; N, k, r) = \binom{N-k}{r-s} \cdot \binom{k}{s} / \binom{N}{r}$ . ここに、 $\binom{u}{v} = \frac{u(u-1)(u-2) \dots (u-v+1)}{v(v-1) \dots 2 \cdot 1}$  であつて、これは「組み合わせの数」、あるいは2項係数として知られている。3節の表はこの関数  $P(s; N, k, r)$  の数値である。

$P(s; N, k, r)$  は確率(正確には確率密度関数)だから  $\sum_{s=0}^r P(s; N, k, r) = 1$  が成立する。この関数の1次モーメントは平均値を表す:  $\sum_{s=0}^r s \cdot P(s; N, k, r) = kr/N$ . これは冒頭の  $1/9$  という確率に対応している。ついでにいえば、2次モーメントからこの確率密度分布の広がり(分散)の程度がわかる。

以上

<sup>4</sup>付録の箇の末尾の1次モーメントの記述に対応、あるいは「9枚で1回当たり」からも直接いえる。

## 世界同時「経済学」恐慌

盛田 常夫

景気循環か経済論調循環か

昨年来、「日本発の世界恐慌を起こすな」とか、「戦後最大の経済危機」という論調が経済誌の基調を占めている。ほんの少し前には、日本経済の永遠の繁栄を讃えていた論者が時流に乗って、今は資本主義の危機を語っている。違和感を感じるのは私だけはあるまい。もともと、1970年代初めのアメリカの金・ドル交換停止に続く石油ショックの時も、日本経済は原始時代に戻ると真面目に語った論者もいたのだから、大言壮語する論調に一喜一憂することは無いということだ。

経済学はイデオロギー

団塊世代が大学時代、サムエルソンの「経済学」（第6版）が使われ始めた。都留重人訳が出版されたことで、以後、近代経済学のスタンダード・テキストの位置を占めた。彼はアメリカの有能なイデオログで、マクロとミクロの新古典派総合を打ち出し、現実の経済はすでに資本主義とか社会主義とかという枠組みを超えて、マルクスの予言は外れ世界は混合経済体制に入っていると主張した。私が在学したアメリカ系の大学では、資本主義という用語を使うと白い目で見られ、マルクス主義者だとレッテルを張られたものだ。

私が編集に参加していた中学「公民」教科書でも、「資本主義」という用語の使用は常に教科書調査官のチェックの対象になった。すでに純粋な資本主義経済は存在しないのだから、資本主義経済の悪弊を列挙することは正しくないということだった。

ところが、社会主義体制が崩壊したら、突如として「資本主義の勝利」が高らかに語られ、グローバル資本主義論が支配することになった。いつから混合経済体制でなくなったのだろうか。もと馬鹿な質問をしてはいけない。もともと経済学はイデオロギーなのだから。

しかし今度は、グローバル資本主義がバブル経済を推進し、バブルの後遺症が深刻になるにつれ、「世界恐慌」などという近代経済学の「敵性」用語がいたとも簡単に近代経済学者の口から語られることとなった。それなら、真面目にマルクスの「恐慌論」を勉強するだけでもいいのだろうか。もう少し、学者なら言動に責任を持ってもらいたい。

経済学は科学ではない

そもそも経済学のないノーベル賞を創つたのが間違い。経済学は壮大なイデオロギー体系。それでも初期の受賞者は

みな壮大なパラダイムを構築した学者であり哲学者だったが、最近ではアイデアオロークがいなくなり、器が小さい学者が選ばれている。

ブラックス・ショールズのようにオプション価格の定式化をおこなった人物がノーベル賞を受賞するにいたっては、いったいノーベル経済学賞とはなんぞやという根本が問われるべきだ。これなどは応用数学の一分野だろう。もつとも現代数学の水準から見れば数学賞というのはおこがましい。

こういう中途半端なノーベル賞は廃止した方がいい。経済学賞を廃止して、数学賞を創設する方がよほど世の中のためになる。ノーベルが数学賞をノーベル賞から外した時に、ハンガリー科学アカデミーがそれを引き受けた。第一次世界大戦で消滅してしまっただが、F1にお金を出せるくらいなら、ここはもう一度奮発して、ハンガリー科学アカデミーが数学賞を創設したらどうだろう。シロシユも応援するに違いない。

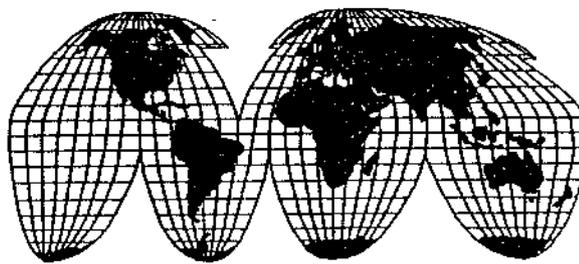
ない。

グローバリズムは「怠惰な資本」の要求

グローバリズムは資本移動の完全自由化要求。これはポートフォリオ（証券）投資の要求だ。直接投資は手間暇がかかる投資。手間暇がかららず、もっと簡単に儲かる方法を一生懸命考えた結果、先物リスクを活用したデリバティブ取引が発達した。アメリカの宇宙工学から転身した連中が金融業界に参入したことも、金融テクノロジの水準を一挙に引き上げた。デリバティブ取引には瞬時に資本を世界のどこへでも移動させる自由が必要。

これは直接投資のような苦労しないで、手軽に儲けたいという怠惰な資本の飽くなき要求だ。しかし考えて見よ、ポートフォリオ投資はマネーゲーム。マネーゲームが付加価値を生むことはない。財テクで永遠に暮らして行けると考えるのは幻想だ。实体经济の裏付

けがなければ、ゲームが永遠に続くことはない。ロシア危機などはその典型例。この経済学のイロハだけは今でも正しい。



# 掲示板

★不動産売ります。

立地条件良し。工場、オフィスに最適。  
場所交通便良し。ブダペスト空港より  
十五分。高速道路四号線より舗装道路  
に面している。MONOR市内（リゾ  
ートホテルに隣接）

土地 二十五エーカー

建物 四〇七平方メートル

地目 商業地帯及び農地

電気・電話・ガス・水道あり

価格は相談に応じます。

連絡先：鈴木 TEL/FAX 29-415-120

★運転免許試験の通訳を致します。

連絡先：349-1219

公認通訳 佐藤紀子

★アンティーク調の元貴族の館

(Woinovich-Huszár Villa) でホーム

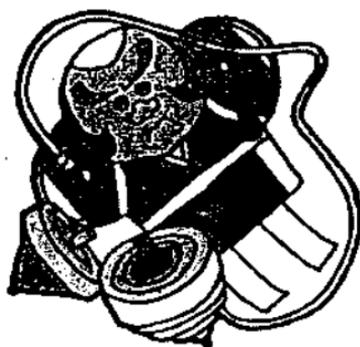
コンサートをしてみませんか？その他  
パーティーや会議など目的に合わせて  
お使いいただけます。夏場には庭園も  
あなたのプログラムを盛り上げてくれ  
ることでしょう。また必要に応じてミ  
ュージシャンの用意もします。レンタ  
ル料その他お気軽にハンガリー語また  
は英語でお問い合わせください。

Fodor (226-8707、

227-6329)

★インターネットでブダペストの観光  
ガイドが日本語で見られます。

budapest-japanese-guide.com



## 編集者から

ハンガリーを離られた方に e-mail  
で「ドナウ通信」が送れます。編集部  
までご相談ください。

次号の締め切りは、3月中旬とさせ  
ていただきます。

TEL/FAX: 266-4967

e-mail: t-morita@hungary.net